

租税教室の授業内容（例）

概	地 域	愛知・岐阜・三重・静岡	区 分	小学校
	テ — マ	くらしを支える税（最も一般的な授業内容です）		
	授業形態	講義式		
要	方 式	クイズやDVDを通して、税が身の回りに使われていることを学ぶ		
	使用教材	DVD、補助教材、1億円レプリカ等		
	講 師	税務署職員、区市町村税務課職員、地元関係団体等		

1 授業の目的

生活を支える学校や公園などの様々な施設が、国民が納めた税金で作られていることを知る。

また、子供たちが納めた消費税が、どのようにまわって、身の回りの様々な施設に使われるのかを学ぶ。

2 授業の流れ

(1) 講師紹介・導入

救急車を事例にしたクイズなどを活用して、身近に税金が使われていることを知る。

また、講師紹介では、必要に応じてキャリアデザイン等の話をする。

(2) 講義

マグネットなどを使用して、子供たちがコンビニなどで納めた消費税が、どのようにまわって、身の回りの様々な施設に使われるのかを学ぶとともに、その使い道を決めるのは、国民が選んだ国会議員が決められていることを知る。

(3) DVD視聴

税金がなかったら世界はどうなるのかをアニメ

でわかりやすくした「マリンとヤマト 不思議な日曜日」を視聴した後、感想や意見を発表する。

(4) まとめ・1億円レプリカ体験



《小学6年生用補助教材》

3 時間配分等

No.	項 目	分	概 要
1	講師紹介・導入	10	講師紹介 税金クイズなどで、くらしを税が支えていることを知る。
2	講義	10	税の流れとその使い道の決め方を学ぶ。
3	DVD視聴	20	「マリンとヤマト 不思議な日曜日」視聴と意見発表等
4	まとめ 1億円レプリカ体験	5	